

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

ABE イニシアティブを通じたアフリカと日本の懸け橋

-日本企業のアフリカでのビジネス促進に向けて-

国際協力機構（JICA）は、8月28日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、ABE イニシアティブを通じた日本とアフリカを結ぶ信頼のネットワークの拡大をテーマに、サイドイベントを開催しました。民間企業や大学関係者、在京アフリカ大使館等から140名を超える参加があり、山田賢司外務大臣政務官も来場されました。

JICA 加藤理事の開会挨拶では、本イベント直前の本会合オープニングスピーチで安倍首相によって発表された、産業人材を6年間で3,000人育成する「ABE イニシアティブ 3.0」に向け、アフリカと日本が一丸となってさらに盛り上げていく決意を表明しました。日・アフリカ連合友好議員連盟会長代行の三原朝彦議員からの来賓ご挨拶ののち、100名以上の応募の中から選ばれた、元／現役 ABE イニシアティブ（注1）研修員代表5名による活動成果発表が行われました。

日本からの帰国後に所属先の大学で若者の起業家育成を行っている事例、日本と東アフリカのネットワーク構築をはかる東アフリカ地域の広域プラットフォームを設立した事例、日本の大学で学んだ地震工学を活かし日本の建築用機材設計会社に就職した事例など、多岐にわたる分野での活躍が発表されました。

続いて、法政大学大学院米倉誠一郎教授、日之出産業株式会社藤田香取締役、TOA 株式会社上野裕介課長、Kakehashi Africa（注2）デヴェット・ニコ CEO および元研修員2名を迎え、企業から見た ABE イニシアティブの活用や研修員から見た帰国後のネットワーク維持の重要性について議論されました。登壇企業からはインターン受け入れについて、文化や言語の違いはあるものの、「まずは一歩踏み出すこと」が重要であり、インターン受入の経験がアフリカ進出に向けた社内環境の整備に貢献したとの報告がありました。日本企業のアフリカ進出の促進、アフリカの産業発展のために、ABE イニシアティブから生まれた人的ネットワークをいかに発展させることができるのか、一般の来場者も交え白熱した討議が行われました。

アフリカ諸国、日本企業、そして ABE イニシアティブに参加した研修員の三方にとって意義のある事業展開について、活発な意見交換・経験共有が行われ

るイベントとなりました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

- 加藤 宏 JICA 理事

【来賓挨拶】

- 三原 朝彦 衆議院議員／日本・アフリカ連合（AU）友好議員連盟会長代行

【発表者】

（ABE イニシアティブ研修員代表）

- Yawovi Agbewonou Helton, トーゴ
- Arafat Ahmed, エジプト
- Hassan Mohamed Muse, ソマリア
- Kipkemboi Benson, ケニア
- Ajok Robinah, Uganda, ウガンダ

【パネリスト】

- 米倉 誠一郎 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授
（モデレーター）
- 藤田 香 日之出産業株式会社取締役
- 上野 裕介 TOA 株式会社 海外営業部マーケティング課長
- Nico De Wet Kakehashi Africa CEO
- Ahmed Arafat
- Ajok Robinah

■脚注

- 1.ABE イニシアティブとは：アフリカの産業人材育成や日本企業のアフリカ進出への「水先案内人」の育成を目的とし、アフリカから日本へ学びに来る若者のため、大学院での教育に加え、日本企業でのインターンシップの機会を提供するイニシアティブ。

<https://www.jica.go.jp/africahiroba/business/detail/03/index.html>

- 2.Kakehashi Africa とは：ABE イニシアティブ研修員によって設立された、ABE イニシアティブと日本企業とのネットワーク構築の為のプラットフォームと

しての役割を持つ国際 NGO。

<https://www.kakehashiafrica.com/>

■ 写真



■ 関連する SDGs ゴール :

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

